

12月の催しもの

☕ まちなかカフェ 🏫 まちなか大学 🎓 まちなか大学院 📢 市民プロデュース講座

日程	時間	内容	講師
12/3 (月)	19:00~20:30	エネルギーの未来をみんなで考える ④生物の力でエネルギーを作る、バイオマス発電	長岡技術科学大学 准教授 姫野修司
12/5 (水)	19:00~20:30	アルビの地域密着型スポーツビジネス ③地域の元気と健康のために	株式会社アルビレックス新潟ランニングクラブ 代表取締役社長 大野公彦
12/8 (土)	14:00~15:30	90分で学ぶ高校地学 -46億年・地球物語-	新潟県立長岡高等学校 地学担当 中村稔彦
12/10 (月)	19:00~20:30	エネルギーの未来をみんなで考える ⑤体験を通して考える、家庭で発電する意義とは	国学院大学 名誉教授 菅井益郎
12/11 (火)	19:00~20:30	知っているようで知らない日本人と「麻」入門編	長岡大学 准教授 西俣先子
12/12 (水)	19:00~20:30	アルビの地域密着型スポーツビジネス ④チアの普及で地域スポーツの発展と社会に貢献する	アルビレックスチアリーダーズ 代表 吉澤洋
12/16 (日)	10:00~11:30	“折れない心”の育て方 ③レジュエンスを活用する	キャリアコンサルタント 高橋宏明
	14:00~15:30	雑煮の中に何を入れる? -二膳目-	お雑煮研究所 所長 粕谷浩子、新潟県栄養士会長岡支部
12/17 (月)	19:00~20:30	エネルギーの未来をみんなで考える ⑥温暖化対策・省エネ・再エネと地域の発展	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 主任研究員 歌川学
12/19 (水)	19:00~20:30	アルビの地域密着型スポーツビジネス ⑤「する」というサッカーの楽しみ方	株式会社アルビレックス新潟

休館日 12/4(火)、18(火)、29(土)~1/3(木)

PRコーナー 長岡造形大学展示



スキップ(一足飛び)

我々は戦後、社会資本整備を進め、現在に至っていますが、その技術がアフリカをはじめとする途上国ではスキップ(一足飛び)して活用されています。携帯電話が普及し、電気がないところでも太陽光発電で充電しています。また、銀行がなくても携帯で送金できるシステムがあります。田舎であっても個人であっても、世界に向けて発信するチャンスが広がっています。我々も途上国支援の視点を変える必要があると感じます。

お申し込み 電話またはまちなかキャンパス長岡ホームページよりお申し込みください。
Tel.0258-39-3300 <http://www.machicam.jp>



S N S まちキャンTwitter (@machicam_n)

f まちキャンFacebook (www.facebook.com/machicam.n)

注意事項 ◎無料保育サービス(6か月~未就学)があります。希望される方は、講座日の10日前までにまちなかキャンパス長岡までご連絡ください。
◎講座の申込をキャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。キャンセルの受付は、開催日前日の閉館まで(平日・土曜は22:00、日曜・祝日は18:00まで)とさせていただきます。連絡をいただかなかった場合は、受講料を徴収させていただきます。
◎まちなかキャンパス長岡主催の講座は、いきいき県民カレッジに登録しています。



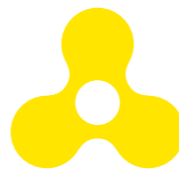
協賛企業 私たちはまちなかキャンパス長岡を応援しています。(協賛金口数順・五十音順)
アクシアル リテイリング株式会社、日本精機株式会社、朝日酒造株式会社、安達紙器工業株式会社、岩塚製菓株式会社、FMながおか、JA越後ながおか、株式会社大光銀行、株式会社第四銀行、長岡グランドホテル、中川酒造株式会社、北越コーポレーション株式会社、株式会社北越銀行、ヨネックス株式会社、ワタナベグループ

編集後記

平成最後の12月です。「師走」という字の如く慌ただしく過ぎていきますね。天皇誕生日が12月なのも今年まで。初詣にはちょっと気が早いですが、伊勢神宮にはおみくじが無いのをご存じですか? 庶民にとってお伊勢参りは一生に一度はしてみたい夢でしたが、昔は遠方から伊勢神宮を訪れるのは簡単ではなかったので、お伊勢参りが達成されたこと自体が幸運=大吉だったそうです。忙しい中でも、きちんと1年を振り返り、新しい年を清々しく迎えたいですね。良いお年を!

1月号につづく

＼きになるがここにある／



まちなかキャンパス長岡
machinaka campus nagaoka

まちキャン通信

12月号

発行:平成30年12月1日

Vol.103 December 2018

まちキャン通信編集部 まちなかキャンパス長岡運営協議会 広報分科会 〒940-0062 新潟県長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト4F
TEL.0258-39-3300 FAX.0258-39-3301 E-mail.machicam@city.nagaoka.lg.jp

1月のまちなかカフェ

おいしいコーヒー、紅茶を飲みながら
気軽に楽しめる講座です

定員 各20名(先着) 受講料 各500円(1ドリンク付) 会場 4F 交流広場

申込受付

12/10(月)~

※電話・HPで



新潟の方言-ネーネーからスケスケまで-

新潟の方言は地域によって特徴があるっけねー。面白いがーよ。でも、なしてこっけにも分かれてらんだべ?地元のまちおこしをしたい!という思いをきっかけに新潟県の方言を研究し、本まで出版したゲストが、新潟県の方言について、ざっくばらんに話します。

H31.1/23(水)
19:00~20:30

方言愛好家
五十沢友郎



個人も組織も「ブランディング」でうまくいく

ブランディングをすると、「お客さま」や「パートナー・取引先」、「働く仲間」、「情報」などが、あなたのもとに集まってきます。どうやって個人や組織の「ブランド」を創っていくか、その実践的な手法を、事例とともに分かりやすく話します。

H31.1/29(火)
19:00~20:30

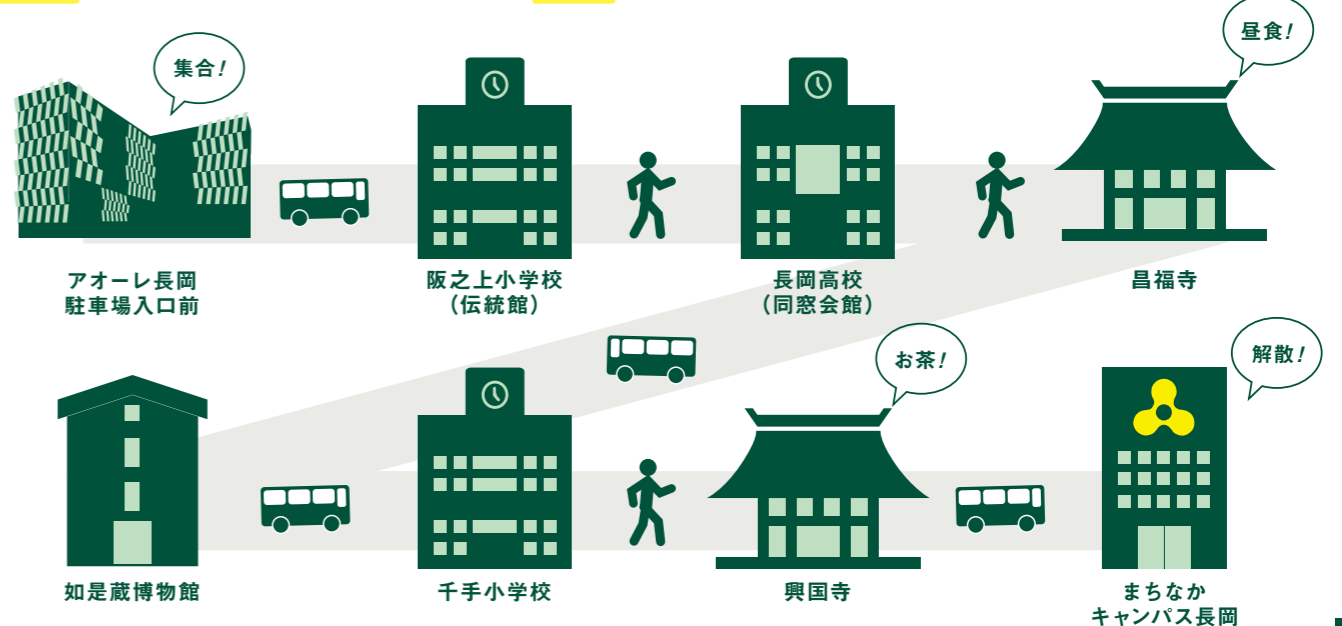
グローバルマーケティング株式会社
代表取締役 今井進太郎



米百俵塾2018 米百俵講座「五感で感じる米百俵めぐり」

米百俵ゆかりの地を巡り、おいしいものも味わおうというツアーです。阪之上小学校、長岡高校、昌福寺、如是蔵博物館、千手小学校、興国寺を巡り、昼食には特製の「米百俵御膳」を味わいましょう。平成国漢学校の塾生がご案内します。

日時 平成31年1月24日(木)11:00~16:00 定員 30名(先着)
受講料 2,000円(昼食代、入館料等含む) 集合 アオーレ長岡駐車場入口前



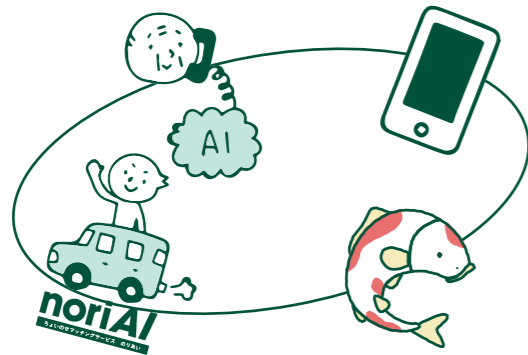
Topic 1

まちづくり市民研究所 第5期 成果報告会を開催しました

市民の皆さんが、身近な地域課題の解決策を創り出す市民協働プロジェクト「まちづくり市民研究所」。今年1月からスタートした第5期のテーマは「AI, IoTで暮らしをイノベーション!」です。長岡技術科学大学 湯川高志教授、長岡造形大学 土田知也教授の両ディレクターの指導のもと、10名の市民研究員が2つのチームに分かれて調査・研究を進めてきました。このたび、その成果としての提案がまとまり、10月28日(日)に報告会を開催しました。

報告会では、「身近な生活やコミュニティに活かす研究」チームが、ニーズが高いのに未解決の困り事をドライな関係性で解決する送迎サービス「noriAI(のりあい)」を提案。また、「地域の観光資源、長岡らしさを活かす研究」チームが、長岡を訪れなければできない体験「錦鯉が泳ぐデジタル野池」と長岡観光を快適にサポートする「観光案内コンシェルジュ」を提案しました。

これらの提案は、まちづくり市民研究所第5期の研究成果として市へ報告し、金子イノベーション推進監からは、「市でもAI, IoTを使って行政の利便性向上を図ろうとしています。今日の提案は、担当部局にも大変参考になると思います。」とお話がありました。研究成果の詳細については、今後報告書としてまとめ、まちキャンでの閲覧やホームページなどで公開するとともに、概要版を関連施設等へを配布する予定です。



成果報告会の様子



今回の研究成果を長岡市の金子イノベーション推進監に提出



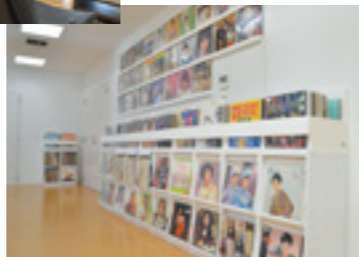
市民研究員の皆さん、ディレクター、関係者の皆さん、ありがとうございました。

Topic 2

まちキャンでレコード聴けます!

まちキャンにレコード鑑賞コーナーがあることをご存知ですか?クラシック、ジャズ、洋楽、演歌など…。幅広いジャンルがずらり。その数なんと8,000枚以上!このレコードは全国各地から寄附されたものです。まちキャンスタッフが心を込めて磨いております。レコードのあの独特な音と味わいは、CDやアプリでは表せません!

ぜひまちキャンで、レコードを聴いてみませんか?



※レコードが多く集まったため、寄贈の受付は休止しております。たくさんのご厚意をいただき、ありがとうございました。

Topic 3

終了した講座をチラ見せ

毎月さまざまな分野の講座を開催しています!今回は、11月までに開催した講座をご紹介します。勉学の秋、趣味の秋…とまちキャンで秋を満喫した次は、冬が待っています。まちなかカフェでホットコーヒーを飲んで“ほっと”くつろぎながら学んだり、暖かい交流広場に集まってお話ししたり。この冬もまちキャンへ遊びに来ませんか?



大人の工場見学 —火力発電所に行ってみよう—

今年の8月から営業運転を始めた長岡火力発電所。市民による見学第1号として、まちキャンが行ってきました!国内最大級の「南長岡ガス田」から産出される天然ガスを使って、発電した全電力が長岡市で消費されています。もし24時間運転し続けた場合、長岡市の全世帯(約11万世帯)を上回る約20万世帯分の発電ができるのだとか!皆さん、長岡を代表するインフラとなった発電所を誇らしげに見学していました。個別の見学もできるそうなので、ぜひ火力発電所のホームページをチェックしてみてください。



最新の設備がズラリ。



巨大な発電機がいくつも!大迫力でした。



いつまでも尽きない受講者の質問。こちらが圧倒されてしまうほどでした。

最後は車両センターを見学。一生に一度かもしれない体験ができました!



電車のはしるしくみ

「通好みの講座」と銘打って実施したこの講座は、少し専門的な内容のものでした。鉄道好きによる、鉄道好きのための講座です。鉄道総研の関係者を中心とした豪華な講師陣による、車両の構造や駆動システム、運行計画についてのお話。飛び交う専門用語。そして最終日にはメンテナンス現場を見学に!車両を真下から見たり、実際に乗って動揺体験(電車の揺れを再現した実験)をしたりしました。まさか電車のトイレはあんな風に処理されていたなんて…驚き。

北越雪譜の魅力

雪は私たちにとって身近なものであり、時に猛威を振るうものです。そんな雪への思いを語り合いながら、北越雪譜の魅力を学びました。雪国の様子や北越雪譜の挿絵を見ると、屋根まで積もった雪や除雪道具などから、当時の積雪量の多さを感じます。ここで驚いたのは、作者が出版までに多くの人の力を借り、お金をかけていたにもかかわらず、原本を人にあげてしまったこと。もったいない…。当時の様子を思いながら北越雪譜を読み、改めて“雪国新潟”を愛することができたのではないのでしょうか。



北越雪譜を愛し、自身で本を出版している講師。

雪に対する思いを語った受講者の方々。

